

外部評価結果の公表シート

整理番号	事業名
90	情報リテラシー向上事業費

所管部局
教育委員会学校教育課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価		
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由	
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(3) 妥当でない(1) 妥当(0) 妥当でない(4)	○民業の範疇と行政の関与の線引きを見直すべき。目的の異なる事業が混在していることも問題である。 ○定量的成果指標がない。対象事業の絞り込みが必要である。少なくともネットパトロールは不要ではないか。	
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			子どもたちがインターネットや情報端末等を日常的に利用するようになり、ネットを介したトラブルの未然防止や早期発見・早期対応は市民ニーズも高く、市の関与も妥当である。
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない(3)	○成果の検証が不十分である。 ○何を指して達成したと考えるのか。他都市の手法(『ネットモラル検定』、『セキュろく』等の取組み)を参考にして再考してほしい。	
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(1) 妥当でない(3)		成果としては達成しており、現時点では現手段が最適と考える。
コスト負担	コストの節減度	節減できている	妥当(0) 妥当でない(4)	○委託料が高すぎる。学校数の減少によりコストが変わるのではないか。	
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	妥当(0) 妥当でない(4)		適切な監視時間を設定のうえ事業にあたっており、コストは節減されているが、委託料の大半を人件費が占めているため、現在よりコストの低減を図ることは難しい。
	受益者負担の適正度	評価対象外			
執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	妥当(4) 妥当でない(0)	○丸投げした一方的な研修講座では継続性がなく意味がない。まだ、改善の余地があると考ええる。	
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	妥当(1) 妥当でない(3)		事業開始時から外部委託により事業を実施しており、また、業務の性質上、専門的な知識・ノウハウを持った業者に委託して事業を実施することすることが望ましい。

所管部局による今後の改善策	
基本方針	当面現状維持



今後の改善策について	意見・提言
現行どおり () 改善() 当面現状維持() 廃止(4)	○実施事業を絞り込んで小学生からのリテラシー教育を目指すべき。 ○トライ&エラーの手法が好ましくないとするのなら、触らせないようにするか、教育・指導していくしかない。リテラシー向上の必要性は高まっている。 ○ネットパトロールの是非もあるが、リテラシー向上とは別問題であり、切り離して再構築すべきではないか。 ○ネットパトロールと情報モラル教育を分離して、事業を再構築する必要がある。
外部評価委員会としての提言 廃止 (不要という趣旨での廃止ではなく、再構築を検討)	

